

短編集

②

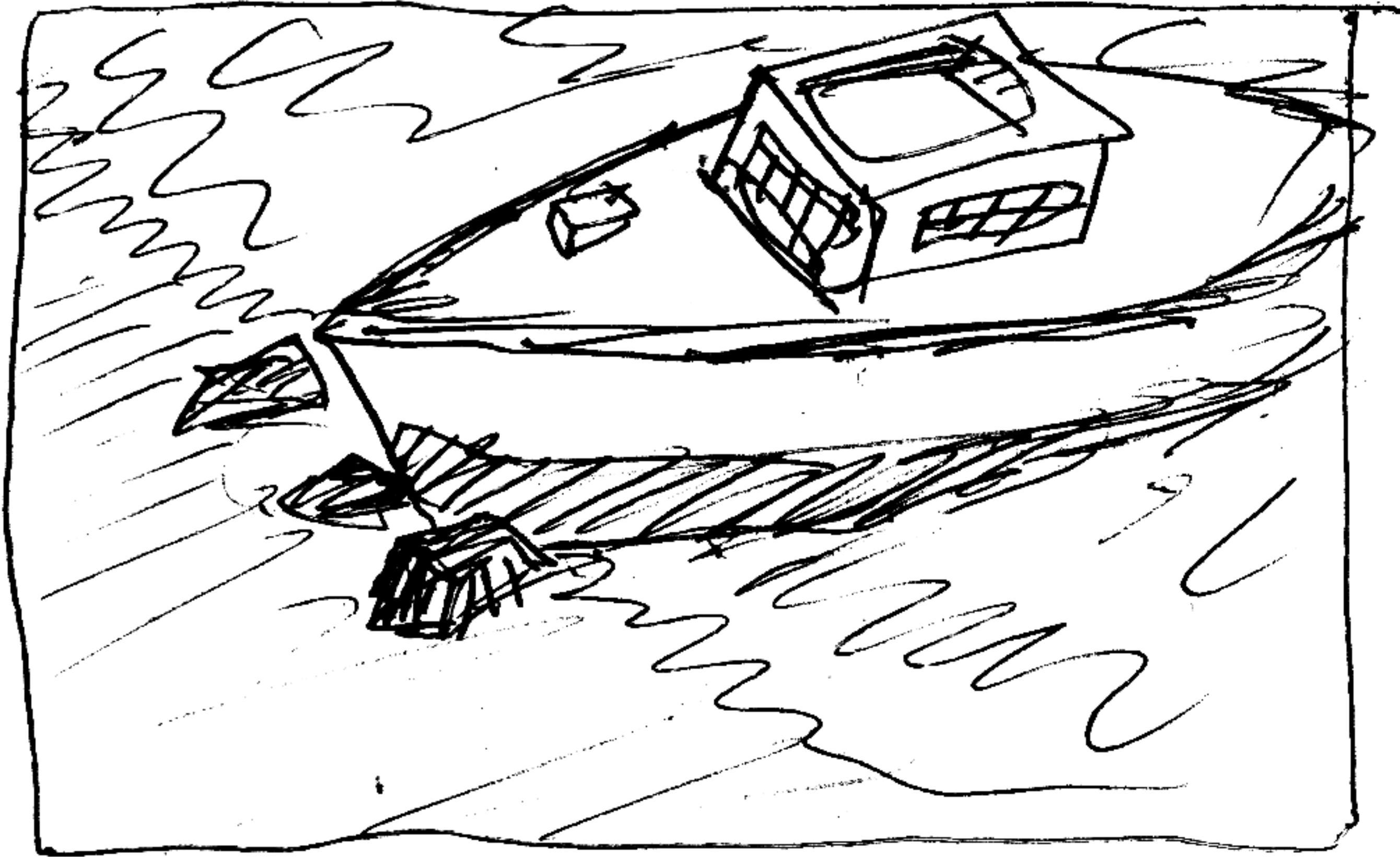
続 前世紀の島



I
わたしが 友達のビルとトシに
小ボートにのりこみ 1ヶ月も
たた友いづちに島とてくわしまし
た。

ボートには ガソリンもなくなつたので

当分ここをくらすよろになりそうでした。



ここは どこだろ？



しかしその時は ニコが グライ
オアリ だとは気がつきませんでした。
気がついたのは ちもなくでした。





怪物はまた私たちをみつけると
こちらにむかってきました。

ビルは川ばらのとげをとって
怪物に投げました。

川ばらは怪物ののどぶえに
命中!

しかし怪物は最後の力をふりしぼり
川ばらのとげからとりとれを
ビルに投げた!!

ビルの足に突きささり倒れてしまっ
ました。

しかし怪物もとうとうたまたまれま
した。



そばにおた

わたしは彼を、^{そばにおた}どうくつにつれこみ
ミヤノグルに1102ツグをどて来て
彼の足にまきつけました。血止めの
方法なのです。

足はしばらくすると止まりました
しかし、つかれたのかぐっすりねむって
います。

するとその時悪く、もう一匹
の怪物が現れたのです。



イバラの枝をどてわたしも

まう靴。





イバラを私もまげましたが
はね返りました 同種の怪物
でしたか? これはカケタマ
違っていました!



その怪物の手はとても冷たくて
こちらがツリていぼのか固かった。
そして指をすこし動かすだけで音もなく
ブリーダーが切れました。

どんどんわたしがあとずさりしていきうちに
もうすぐうしろが いぼのどげ という
所に来ました。



グワッ 怪物はかちほこった まねの

ことばを送りました

それがいけ支かたんです。

音のひびきで 頭にあつた岩がくずれ

怪物の頭におちました。

ひとたまりもなく 怪物はダラッ

こうしてわたしも ギルもたすかれました

が、われわれはこれから 怪物の

たおれた すさまから 出入りをい

ければならなくなりました。

しかしまたも 恐ろしいことが、

仲間の声もきかなくなった 同種の怪物が

またおびえてきたのです。

怪物の死がけいを見たもう一匹の

怪物は死がけいをどけ入ってきました。

こんどの怪物は せたけがなすかたの

で どんでん入ってきました。

これでまわりのようです。

どんどん おしずりしてバク

もうまた後がイバラになりました。

イバラのなるバクなところをとお

たのですが



あんなに パンツがイバラにひかか

てしまいました。とろろとすりなので

とれません。

怪物は近づきます。

かまわず 私は うしろにたがりと

もろくも 切れてしまいました。

これで私は全裸になってしまいました。

しかしかまわず 近づいてくる怪物。





とこの時 すどく とがったイバラの
~~枝~~ 枝が とんできて
怪物の 背部に 当たりました。
このすどくは 怪物の 体をも
かんつうし、怪物は みごとたまれ
ました。



それをおいげてくれたのはエルでした。

ムリをしたのかエルはすぐたおれ

てしまいました。 すでに熱でした。

わたしは エルのくちびりにキスをすると

自分の 切れたブラジカーが また

しゃべっていたので 頰にのせ

この夜は ずりかんでびやりました。